

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	穴太のせせらぎ理念 ①心寄り添う暮らしを目指します。②心穏やかに生活できる環境を創造します。③心安らぐ信頼のホームを実現します。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	共有し、日々取り組んでいる	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域住民やご家族様に配布する施設案内やパンフレット等には、随時施設理念を掲載している。また、施設内の各ユニットごとの玄関口にも理念を掲示し、広く告知するよう心がけている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣接する高齢者住宅の住民の方々を定期的に施設行事等へご招待する等して交流を図っている。	こちらからお誘いをしなくとも近隣住民の方々が、いつでも気軽に立ち寄って下されるような環境作りに努めていきたい。又、将来的には施設職員」を介さなくとも地域住民と入居者との間で、ご近所付き合いのような関係が構築できればと考えている。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣住民や民生委員の方々のお誘い等で祭りや陶芸教室等へ参加。また近隣の自治会主催の地域清掃等へも積極的に参加している。	今後は、近隣の保育園や小・中学校とも交流を図っていきたい。催事への参加や中学校の職業体験学習の受け入れ等。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の高齢者住民の方々、特にお1人暮らしの高齢者の方には頻りに声を掛けたり必要時には相談等にも応じている。		近隣に小学校や公園がある事から、入居者の日課である散歩の時間を小学校の下校時間に合わせ、道や公園でお1人である子供がいれば声を掛ける等、地域の防犯に少しでも貢献できればと考えている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価や自己評価の内容に基づき、全体会議や各担当委員会会議を開催し、改善策の検討等行っている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	施設内での取り組み内容や予定について、ご意見やご指摘を頂いたり、また運営推進会議委員の方々からのお誘いで地域活動や催事への参加を行っている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要に応じて市町村に問い合わせや訪問を実施している。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	近い親類がおられない入居者や将来的に活用が望ましいと考えられる入居者に関しては、担当の介護支援専門員や管理者から、ご本人や現在の身元引受人の方等に支援や援助を行っている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての知識を職員全員が周知徹底出来るよう勉強会を開催したり、常日頃よりカンファレンスや申し送り、会議等で話し合っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	各ユニットの計画作成担当者は、入居者やそのご家族に適宜十分なアセスメントや説明を行っている。	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	当施設では、苦情担当職員を配置している。また施設玄関内には、外部からの意見を募るアンケート用紙（無記名可）と専用の投函箱を設置している。	設置以来、意見箱への投函1通。意見箱には施錠をつけ、周辺には椅子や筆記用具等いつでも記入しやすい環境作りに努めているが、設置場所が比較的目につきやすい場所である事から利用しづらい可能性がある。今後は、予めアンケート用紙をご家族や入居者に配布し、来訪時に意見箱に投函して頂けるような対応もしたい。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月郵送にて送付する請求書に、各入居者のご様子をお知らせするお便りを同封している。また入居者の金銭管理については、管理者の責任の下、個別に管理し毎月ご本人やご家族へその収支を明瞭に示している。	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	全体会議等で報告しており、それによる意見や指摘を運営に反映している。	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	全体会議等において広く意見や提案・要望を募っている。	『個別ケアをチーム体制で取り組んでみたい』『時間通りの休憩時間がほしい』『休憩中に水分補給をしたいが近くに自販機等がない』等々、随時検討後対応済み
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	随時、必要に応じてカンファレンス等を実施し、対応方法の検討や職員の緊急勤務体制に取り組んでいる。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動時には、事前に入居者や家族に報告しており、また異動後も同施設内にて引き続き勤務しており、度々顔を合わせる事もあることから入居者の不安は軽減されている。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に施設内外での研修や勉強会に参加・開催できるよう努めている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他市町村の事業所と互いに連携をとり、交流を図っている。		今後は、相互に職員研修や合同カンファレンス等を積極的に開催し、互いのサービスの質の向上に向けた取り組みを実施したい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の多種多様な経歴や性格等を勘案し、出来るだけそれらを生かした担当への配置を心がけている。また、個別での相談にも随時応じている。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	能力やスキル、勤務状況等により、各役職手当を設けたり、各職員が日々スキルアップできる状況を設けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	施設入居に至る迄、何度も利用者やそのご家族と話し合う機会を設けており、必要に応じて援助や助言等行っている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	同上	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接等で知り得た情報を基に作成したモニタリングシートに基づき、職員間で『判定会議』やカンファレンスを実施。その中でその利用者に必要と考えられるサービスや対応策を検討している。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	施設の雰囲気馴染んで頂き、利用者やそのご家族が少しでも不安なく入居を迎える事が出来るよう入居日までに、施設行事や活動に参加して頂ける機会を設けている。	入居前に何回か来訪頂き、敬老祭や他施設行事にご参加されたり1日体験入居のような形で来訪して頂く事で、利用者やそのご家族には入居までに顔馴染みの職員や入居者が出来、これまで円滑な入居を迎える事が出来ている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	各入居者がこれまで生きてこられた中で知り得た知識や技術を探り、それを施設生活の中で少しでも生かしていけるような取り組みを日々実施している。また、その中で職員が入居者から学んだりご指導を受ける事も多い。	若い職員が入居者から、調理や掃除の仕方、編み物や裁縫を学んだり、戦争体験を聞いたりする事がある。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	施設行事や活動に入居者のご家族も招待し、楽しい時間を共有して頂けるよう支援している。		遠方在住のご家族やお仕事等で多忙なご家族が多い為、限られたご家族のみの参加になってきている。これからの取り組みとして、そのようなご家族も含めお1人でも多くのご家族に参加して頂けるよう日程等の調整をしていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	両者の関係については、入居前のアセスメントや入居後のご家族面会時のご様子やお話の中で把握していきながら必要な援助や助言を行っている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の面会を促したり、行きつけのお店や場所への外出援助を実施している。		『毎朝通っていた神社へのお参りを続けたい』『鹿児島へ帰ってみたい』等々、人員配置の都合等で、ご本人の望まれる通りの支援が出来ていない事がある。今後は、ご家族様等のご協力も仰ぎながら入居者の要望に少しでも多く対応できるよう検討していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	常により良い人間関係の構築に努め、必要時には転室等の対応も実施している。		作業提供等の際も、気の合いそうな複数の入居者を考慮して誘っている。孤立している入居者には他者の輪の中に入る事を無理強いせず、まず職員が個別に傾聴したり寄り添ったりする等の対応をしている。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後も必要に応じて相談や助言に応じる事を予め利用者やご家族に伝えており、またいつでも気軽に訪問して頂けるよう伝えている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常にご本人の意向を把握できるよう傾聴に心がけ、その中で知り得た情報は必ず記録に残し、全員が周知出来るよう努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居に至るまでの生活歴や趣味、嗜好等アセスメントシートに記載されている情報は必ず、職員全員が目を通し捺印し、入居後の支援に生かせるよう努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	センター方式を活用している	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的または、見直しが必要とされる時は、随時ご本人やご家族の思いや希望を再アセスメントしたり、現場職員を交えてケースカンファレンスを実施して、常に現状の沿った介護計画の作成をしている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	同上	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護に必要な情報やADLを記録した個々のカードックスシートや個別ケア目標、日々の介護記録等々を参照し、すべてを介護計画の見直しに反映できるよう努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	施設行事への家族の招待や、ご家族宅への外泊等の支援や調整を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員や地元警察、消防、小中学校との連携を図っている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて他事業所と連携し、支援していく準備がある。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて協働していけるよう働きかける準備がある。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	現在、取り組んでいない。	将来的には、かかりつけ医や協力医療機関との協議、連携の下ターミナルケアへの取り組みも行っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご本人やご家族には事前に転居先施設の情報、見学を支援。また、転居先施設へは入居者についての詳細な情報を記載した介護サマリーを送付している。		当施設より他施設への転居数1件
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者に対する言葉遣いは、あくまで人生の先輩としての尊敬の念を頭において話すよう、日々や会議の中で指導している。また、記録や個人情報等は常に施錠されたロッカー内で保管管理し、プライバシーに配慮した取り扱いをしている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常に傾聴を心がけ常に自己決定できる雰囲気作りに努めている。また、個々の性格を加味し、それぞれにアプローチや話し方の工夫をしている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のその日の体調や希望、天候等によって日々の日程を考え支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居者の中で希望する理髪店がない為、現在は月1回の訪問理美容サービスを活用しているが、それぞれに希望があれば随時対応している。また日々の生活の中でお化粧やマニキュア等も楽しんで頂けるよう支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1人1人の嗜好やアレルギーの有無、病状等を理解した上で、それぞれに適した献立を管理栄養士が作成し提供している。また、調理や配膳・下膳、後片付けなどの作業は男女問わず積極的に参加して頂いている。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在、飲酒を希望される方はおられないが、喫煙を希望される方がおられる為、かかりつけ医の了承の下煙草や火の管理、喫煙本数の把握に努めながら、所定の場所での喫煙を楽しんで頂いている。また、入居者がそれぞれに外出時等に購入されたおやつ等も賞味期限や保存状況等を管理している。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	常時、排泄チェックシートを活用し、個々の排泄パターンの把握に努めている。オムツ類は個々の排泄の量や使用方法等に適した物を最小限度使用している。		排泄委員を中心とした会議を定期的実施。排泄の自立に向けた援助を日々実施している。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	いつでも希望時に入浴して頂けるようにしている。また、個々の入浴時の援助方法やアプローチ方法を個別に作成している。		季節感を味わって頂くため『せせらぎ温泉』を月1回実施している。実施に際しては、ポスター等を掲示し、言い伝えや効能などを表記している。元々入浴嫌いであった入居者もこの日は喜んで入浴をしてくださったり、香りが気持ちいい等々、好評を得ている。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	極力、眠剤を使用せず入眠して頂けるよう、個々にあった対応法を検討し支援している。		使い慣れた寝具や調度品の使用や、照明や音の調整、入眠前にホットミルク等飲用促したり、偽薬の使用等、それぞれに有効な対応策を検討し、支援している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割の提供や趣味への参加時に、職員は提供中のご本人の様子やコメント等、詳細に記録して次回の支援につなげていくよう努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族から預かった金銭は、管理者が個々に管理しており、出来る限り入居者の希望や力に応じて遣えるよう支援している。また、こちらの明細については、毎月ご本人やご家族に明細書としてお渡ししている。		自己管理が可能な入居者については、ご家族のご了承が頂ける金銭を自己管理されており、希望時に使っておられる。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	当日の体調等に留意しながら、個々また時には多数で外出する機会を頻繁に設けている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お墓参りや知人や家族宅等への訪問、好みのお店や飲食店への外出等、個々の希望に応じて臨機応変に対応している。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や知人等への電話の取次ぎや手紙の郵送など支援している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会者の来訪時には、居室でゆっくり過ごしていただけるよう配慮している。		リビングの目につきやすい場所に、面会者が自由にお茶などを飲めるようセッティングしている。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	いかなる場合においても身体拘束をしない方針で支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室はもちろんの事、日中は玄関口においても施錠はせず、開放的にしている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	24時間体制で安全確認に努めている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の能力に応じて管理出来るもの、出来ないものを判断し、対応している。(煙草や髭剃り、裁縫道具等)		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	研修参加や知識を学ぶ取り組みを実施している。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	研修を実施している。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を年2回実施する。	○	本年度は12月に実施予定はしているものの年2回の実施には至っておらず。来年度以降は年2回の実施を目指したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	必要時にはご家族に説明を行っており、了承を得る事が出来ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルサインチェックや歩行や顔色、皮膚の状態の変化等、常に観察をしながら入居者と接するよう心がけている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容や副作用や効能について職員全員がいつでも確認し、把握できるようファイルにしている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分量や運動量、繊維質の食物摂取の支援等。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを実施。また、毎週1回歯科衛生士による口腔内チェックや口腔指導も実施している。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量のチェックと記録の徹底。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染研修を数回実施しており、それらに基づいた当施設での対応方法を作成し、またこれを掲示している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒防止についての研修実施。また、食材の配達は当日使用する分だけが毎日配達されるよう調整している。また、アルコールスプレーやキッチンハイター等で調理器具の衛生管理に努めている。		
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周辺は極力施設の奮因気を感じさせない工夫を心がけている。また、近隣住民やご家族が出入りしやすいよう日中は施錠せず扉を開放している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔を心がけ障害物を削除したり遣い勝手のいい環境づくりに努めている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	工夫している。（ソファや椅子等を設置）		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	なるべく遣い慣れた家具や寝具の持参を促してい る。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気に留意し、温度調節も随時実施している。		
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	安全な環境作りに努めている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	一人一人の能力を見極め、出来るだけ自立した生 活が送れるよう支援している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	外周り玄関先に入居者自ら育てている植木や花を 設置し、朝夕の水やりをして頂いたり、庭園や 外周りの散歩・散策も随時行なっている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

これまでも、日々介護計画に沿った介護に努めてきましたが、2ヶ月前より介護職員主体の個別ケア目標を作成し、その内容に沿った援助を日々行うようになりました。これは1ヶ月ごとに見直しを行い、実践されていれば次の目標を設定したり、実践されなければ検討し、目標内容の見直しや目標の変更を行います。実践してまだ2ヶ月あまりですが、以前より入居者の生活に活気が出てきたように思います。